第 17 回京都フィルムメーカーズラボ（Kyoto Filmmakers Lab 2024）結果報告

令和 7 年 2 月 12 日
京 都 文 化 博 物 館

▸東映チーム

▸松竹チーム

京都フィルムメーカーズラボ（以下、KFL と略称）は、国内・海外の若手映画製作者を対象にして、東映京都撮影所、松竹撮影所の各オープンセットを使い、短編時代劇作品を製作するワークショップである（公用語は英語）。時代劇セット、美術、照明、衣裳など本編映画と同じ施設・道具を使用し、京都伝統の本格的時代劇を体験する。またこれにより、内外の若手映画作家間のネットワーク形成を支援する。

ウェブ公募（2024 年 8 月 30 日［金］～10 月 21 日［日］）はハンズオン時代劇、マスターズセッションに分けて応募を行なった。結果、日本含む 34 カ国から 377 名の応募があり、ハンズオン時代劇、マスターズセッションで計 11 カ国から 37 名の参加者となった。

＜ハンズオン時代劇＞

安藤清人氏（照明監督／東映）、永島聡氏（プロデューサー／松竹）監修のもと、ハンズオン形式による直接指導の時代劇製作を 2024 年 12 月 3 日（火）～12 月 5 日（木）の 3 日間にわたって東映京都撮影所、松竹撮影所で開催。

＜マスターズセッション＞

2024 年 12 月 6 日（金）～12 月 8 日（日）まで、京都文化博物館および旧武徳殿を会場に、殺陣の実技講座を含め 14 のセッションを開催。

なお、宿泊については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年の合宿形式は取りやめ、各自で手配とした。

主　催：　京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会
［京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巌本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学］
共　催：　第 37 回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
協　力：　京都クロスメディア推進戦略拠点

1　参加者募集

期　間：　2024 年 8 月 30 日（金）～10 月 21 日（日）
方　法：　ウェブページからの申込み（3 分以内の自作サンプルをオンラインで提出）
応募件数：　377 名（ハンズオン＋マスターズセッションの応募合計）
国籍内訳：アルゼンチン、オーストラリア、バングラデシュ、ベルギー、ブラジル、ブルガリア、カンボジア、カナダ、コロンビア、クロアチア、エストニア、フランス、ドイツ、インド、イン

ドネシア、イタリア、カザフスタン、マレーシア、ネパール、パキスタン、パナマ、フィリピン、ポーランド、プエルトリコ、シンガポール、スペイン、スウェーデン、トルコ、タイ、イギリス、アメリカ合衆国、ベトナム、韓国、中国、日本。

２　参加者審査

審査日： 2024 年 10 月 26 日（土）
会　場： 京都文化博物館　7 階会議室
審査員： 高橋剣氏（東映京都撮影所）、永島聡氏（松竹撮影所）
審査通過：41 名(ハンズオン時代劇 21 名、マスターズセッション 20 名)
実際参加数：ハンズオン時代劇 21 名、マスターズセッション 16 名

３　シナリオ選考コンペ、監督選考ならびに参加者撮影担当割り振り

シナリオ選考コンペと採用シナリオについて：

・参加者から、3 分を目処に作品シナリオを公募した結果、7 本のシナリオの提出があった。
・内容、使用可能なセット、俳優等の条件から、以下のシナリオを選出。
『刺客の華』 作：鈴木野々花（東映チーム）
『神風物語』 作：小川深彩（松竹チーム）

【東映チーム】

スーパーヴァイザー：安藤清人（照明監督）
Christian Paolo Lat（撮影／フィリピン・カナダ）、Kimmy Nguyen（製作／ベトナム）、Joanna Vymeris（監督／イギリス）、Vina（美術／インド）、Kaz Cai（助監督／シンガポール）、Yuuka Tanaka（録音／日本）、齋藤 優稀（照明／日本）、安藤 美由（撮影補／日本）、柘植 美絵（製作／日本）、鈴木 野々花（助監督／日本）

【松竹チーム】

スーパーヴァイザー（プロデューサー）：Satoshi Nagashima/永島聡
Jeffrey Chin（撮影／アメリカ）、Lo Lam（製作／香港）、Hao Zheng（助監督／中国）、Johnson Cheng（監督／アメリカ）、Ta SU（美術／台湾）、小川 深彩（製作／日本）、西川 萌生（照明／日本）、西 佑真（撮影補／日本）、Inrasothythep Neth（助監督／カンボジア）、吉田 雅一（録音／日本）

【マスターズセッションからの参加者】

Stanley Hector（インド）、Fang Li（中国）、Raymund Barcelon（フィリピン）、Samir SARKAR（インド）、 Thi Phuong Linh VO（ベトナム）、Jo-Chi KUO（台湾）、Hsiangyu HSIEH（台湾）、Dev Karnal Friden（スウェーデン）、佐藤 懐智（日本）、周 子馨（中国）、霧生 笙吾（日本）、近藤 啓二（日本）、長江 凪砂（日本）、Sohee Park（アメリカ合衆国）、Suhyun Kim（韓国）、Shen　Lin（カナダ）、Ma. Fatima Aiza Elloso（フィリピン）

４　京都フィルムメーカズラボ・日程

■ハンズオン時代劇

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所
12 月 3 日 13:30～14:00

【HJ01】全体オリエンテーション　会場：東映京都撮影所　プロダクションルーム

参加者、撮影所スタッフそれぞれの自己紹介およびラボ全体の概要と、移動・宿泊やその他注意点などを説明。

15:00～

【HJ02】プリプロダクション　　会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

東映チーム・松竹チームに分かれ、スタジオ、セット等を確認後、撮影・演出プランの打合せを行う。

12 月 4 日、5 日　　9:00～18:00

【HJ03】ハンズオン時代劇・短編時代劇撮影　　会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

東映チーム・松竹チームに分かれ、２日間で作品撮影。

12 月 5 日 13:30～15:30

【HJ04】ハンズオン時代劇スタジオ撮影の見学会　　会場：東映京都撮影所、松竹撮影所

東映チーム、松竹チームのスタジオ撮影をマスターズ・セッション参加者やラボ関係者が見学。

■マスターズ・セッション

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、京都文化博物館、旧武徳殿

2024 年 12 月 6 日 13:30～14:00

【MS01】全体オリエンテーション　会場：旧武徳殿（京都市武道センター）

マスターズ・セッション全体の概要と移動・宿泊やその他注意点などを説明。

14:00～15:30

【MS02】殺陣講座　会場：旧武徳殿（京都市武道センター）

東映京都撮影所殺陣師による、京都の殺陣の精神とスタイルのレクチャーと実演。

16:30～18:50

【MS03】『せかいのおきく』上映とマスターズトーク　会場：京都文化博物館フィルムシアター

阪本順治監督作品『せかいのおきく』の鑑賞と阪本監督によるマスターズトーク。

19:30～20:30

【MS04】『山中貞雄に捧げる漫画映画「鼠小僧次郎吉」』上映とマスターズトーク

会場：京都文化博物館フィルムシアター

りんたろう監督作品『山中貞雄に捧げる漫画映画「鼠小僧次郎吉」』の鑑賞とりんたろう監督、プロデューサーの丸山正雄(MAPPA 会長)、丸山真太郎（M2 プロデューサー）によるマスターズトーク。

2024 年 12 月 7 日 10:00～12:00

【MS05】ライトニング・トーク　　会場：京都文化博物館 6F 和室

KFL 参加者による自己紹介。自身の実績、次回のプロジェクト、将来の夢など。

13:00～14:00

【MS06】Ministry of Economy, Trade and Industry JLOX Talk 会場：京都文化博物館 6F 和室

経済産業省の JLOX 事業等について映像・アニメ・ロケ誘致・印刷政策統括担当の目黒浩によるトーク。

14:30～15:30

【MS07】BCC_Future_Session 会場：京都文化博物館 6F 和室、１F VR 展示場

ヴェネツィア国際映画祭のビエンナーレ・カレッジ・シネマで長編作品を製作した若手監督クリスティアン・フィリッピによるトーク。

16:00～17:00

【MS08】カムバック・サーモン・プロジェクト 会場：京都文化博物館 6F 和室

過去の KFL 参加者であるレイ・フィゲロア（映画監督、KFL2013 年参加者）のキャリア及び今後についてのトーク。

17:30～18:30

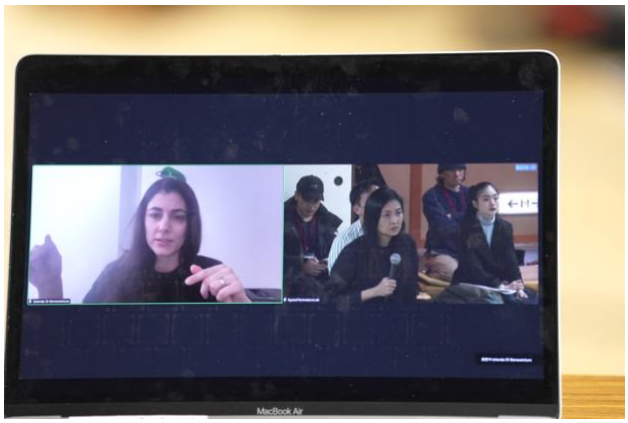
【MS09】BCC_Session(Online) 会場：京都文化博物館 6F 和室

ヴェネツィア国際映画祭のビエンナーレ・カレッジ・シネマのヴァレンティーナ・ベローモによる、ヴェネツィア国際映画際が行う若手映画作家育成事業についてのトーク。

2024 年 12 月 8 日 10:30～11:30

【MS10】BCC_VR_Session　　会場：京都文化博物館 6F 和室

ヴェネツィア国際映画祭のビエンナーレ・カレッジ・シネマで VR 作品を製作したヨランダ・ディ・ボナヴェントゥーラ監督によるトーク。



13:00～13:50

【MS11】HISTORICA X　　会場：京都文化博物館 6F 和室

Klio Studio CEO のエイドリアン・ランソンによる Virtual production についてのトーク。

14:30～15:30

【MS12】SHOGUN 将軍 Masterstalk 会場：京都文化博物館 6F 和室

『SHOGUN』プロデューサーである宮川絵理子によるトーク。

16:00～17:00

【MS13】Global Connects Session 会場：京都文化博物館 6F 和室

Global Connects 社 CEO のダグラス・モンゴメリーによるトーク。

17:30～18:30

【MS14】MatchHat and Tokusatsu and Actor Session　　会場：京都文化博物館 6F 和室

MatchHat 社 CEO の梅若ソラヤによる MatchHat プロジェクトについて／KFL 参加者で特撮監督の八木毅による映画特撮／KFL 参加者で映画俳優の泉原豊による映画俳優の国際化についてのトーク。

▪京都フィルムメーカーズラボ＋マスターズセッション・オンライン・ワークスペース

＜KyotoFilmmakersLabhq.slack.com＞ アプリ：Slack

オンラインで事前のプリプロ打合せ、マスターズセッション講座事前説明、講師への質問、討論。

（交流メッセージ数 3,029 件）